### csvfile

CSV（Comma-Separated Values）またはTSV（Tab-Separated Values）ファイルからデータを参照します。CSVまたはTSVファイルの最初の行にあるヘッダー情報を読み取り、フィールド名として使用します。

#### 構文

csvfile [OPTIONS] PATH

必須パラメータ

**PATH**

CSVファイルのパス、またはファイルパスを返すクエリパラメータを参照します。ファイル名にワイルドカード（\*）を使用してパターンマッチング方式でファイルを参照できます。例えば、PATHにallow-\*.csvを指定することで、allow-ip.csv、allow-user.csv、allow-url.csvなどのファイルをまとめて参照できます。ファイルを読み込むには、ログプレッソ実行アカウントにアクセス権限が付与されている必要があります。

オプションパラメータ

**cs=CHARSET**

文字列エンコーディング形式（デフォルト：utf-8）。このオプションは大文字・小文字を区別せず、以下のドキュメントに登録されているPreferred MIME NameまたはAliasesをCHARSETとして使用できます：<http://www.iana.org/assignments/character-sets/character-sets.xhtml>

**limit=INT**

取得するレコードの最大件数（デフォルト：制限なし）

**maxcol=INT**

参照する最大カラム数（デフォルト：10,000個）。参照するデータのカラム数が指定した最大カラム数を超える場合、restオプションで処理方法を定義できます。

**offset=INT**

スキップするレコード数（デフォルト：0）

**rest=BOOL**

maxcolオプションで指定した数以降のカラムの表示有無（デフォルト：f）

1. t：maxcolオプションで指定した数を超えるカラムのデータをすべて\*\*\_rest\*\*フィールドに割り当て
2. f：指定した数を超えるカラムのデータをすべて破棄

**strict=BOOL**

RFC4180（<https://tools.ietf.org/html/rfc4180>）準拠オプション（デフォルト：f）

1. t：Microsoft Excelと同様にRFC4180に準拠。このオプションはtab=tと同時に使用できません。
2. f：CSVファイルを柔軟にパース

**tab=BOOL**

タブ（tab）文字を区切り文字として使用するかどうか（デフォルト：f）

1. t：タブ（tab）文字を区切り文字として使用
2. f：カンマ（,）を区切り文字として使用

#### 使用例

/opt/logpresso/wp-nginx.csvファイルを参照

# ダウンロード: https://raw.githubusercontent.com/logpresso/dataset/main/wp-nginx.csv | csvfile /opt/logpresso/wp-nginx.csv

/opt/logpresso/wp-nginx.csvファイルの内容から最初の1行をスキップし、20件のレコードを参照

csvfile limit=20 offset=1 /opt/logpresso/wp-nginx.csv

/opt/logpresso/wp-nginx.csvファイルから4つのカラムのみ参照

csvfile maxcol=4 /opt/logpresso/wp-nginx.csv

/opt/logpresso/wp-nginx.csvファイルから4つのカラムのみ参照し、残りのカラム値を\*\*\_rest\*\*フィールドに割り当て

csvfile maxcol=4 rest=t /opt/logpresso/wp-nginx.csv

区切り文字とカラムの間に空白があるデータ

strict=tの場合、区切り文字とカラムの間に空白があると、ダブルクォーテーション（"）が文字として認識され、意図通りにパースされません。

# ダウンロード: https://raw.githubusercontent.com/logpresso/dataset/main/csvfile-strict-option-test-1.csv | csvfile strict=t /opt/logpresso/csvfile-strict-option-test-1.csv

strict=fの場合は、ダブルクォーテーションペア（" "）の組み合わせが合っていれば、クォーテーション内の文字列のみをカラムとして認識するため、意図通りにパースされます。

csvfile strict=f /opt/logpresso/csvfile-strict-option-test-1.csv

区切り文字とカラムの間に空白がないデータ

strict値に関係なく、区切り文字とカラムの間に空白がないため、意図通りにパースされます。

# ダウンロード: https://raw.githubusercontent.com/logpresso/dataset/main/csvfile-strict-option-test-2.csv | csvfile strict=t /opt/logpresso/csvfile-strict-option-test-2.csv csvfile strict=f /opt/logpresso/csvfile-strict-option-test-2.csv

ダブルクォーテーション（"）をエスケープ処理（\"）したデータ

strict=tの場合、エスケープ文字（\）が通常の文字として認識されるため、ダブルクォーテーションペア（" "）で囲まれたカラム内で\"を使用してダブルクォーテーション（"）を表記した場合、意図通りにパースされません。

# ダウンロード: https://raw.githubusercontent.com/logpresso/dataset/main/csvfile-strict-option-test-3.csv | csvfile strict=t /opt/logpresso/csvfile-strict-option-test-3.csv

strict=fの場合、二重ダブルクォーテーション（""）やエスケープされたダブルクォーテーション（\"）が、意図通りカラム内でダブルクォーテーションとしてパースされます。

csvfile strict=f /opt/logpresso/csvfile-strict-option-test-1.csv csvfile strict=f /opt/logpresso/csvfile-strict-option-test-3.csv

#### 互換性

maxcolおよびrestオプションは、ENT #2246 2019-05-24\_14-58バージョン以降でサポートされています。